

議事録

審議会等名	つくばみらい市水道運営審議会
開催日	平成28年10月25日(火)
開催場所	つくばみらい市役所谷和原庁舎 第3会議室
出席者	出席委員 高木会長, 浅野副会長, 青木委員, 小田川委員, 片見委員, 鐘ヶ江委員, 中島委員, 中山委員, 宮島委員, 渡邊委員 欠席委員 長塚委員, 古谷委員 市出席者 片庭市長, 奈幡都市建設部長, 土信田課長, 広瀬課長補佐, 石川課長補佐, 岡野係長, 武居主事
議案	・平成27年度水道事業会計決算について(報告)
議案概要	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 午後1時30分に開会した。 会議に先立ち, 広瀬課長補佐がつくばみらい市審議会等の会議の公開に関する指針により, 本審議会は会議の内容から原則公開とし, 今後非公開とすべき事由があると想定された場合は, その都度お諮りするとの報告を行った。 ・委嘱状交付 片庭市長が委嘱状の交付を行った。 ・市長あいさつ 片庭市長があいさつを行った。 ・会長及び副会長選出 つくばみらい市水道運営審議会条例第5条第2項により, 会長及び副会長は, 委員の互選となっており, 事務局一任により事務局が会長を高木委員に, 副会長を浅野委員にと提案したところ, 委員の異議なしにより提案どおり選出した。 ・会長あいさつ 高木会長があいさつを行った。 ・議案について 広瀬課長補佐が「平成27年度水道事業会計決算について(報告)」を資料「平成27年度決算事業別概要書」に基づき報告を行った。 <p>質疑等 委員 資料は1週間ぐらい前までに配付してもらえないか。</p>

事務局	1週間ぐらい前までに配付する。
委員	久保浄水場更新事業の用地買収の場所はどの辺りか。
事務局	久保浄水場の道路を挟んでワープステーション側にある道路に囲まれた畑一区画となる。約4000平方メートルあり、既に取得は終わっている。
委員	久保浄水場からみらい平配水場まで送水管の整備を行っているが、どの辺りまで布設を行っているか。
事務局	ワープステーションのところから板橋不動尊の交差点までの新しい県道のルートで布設している。その先は県道がみらい平まで繋がる予定ではあるが、県道の進捗が進まない状態である。なるべく早くみらい平配水場に二つの水源を確保したいことから、板橋不動尊から先は、近代造園さくらいの方を通り、小張の愛宕神社を抜けてみらい平の南側から入っていく現道のルートに変更した。このルートについては、一部分で下水道工事を行った部分があるので、その部分を今年度整備する予定である。そこを整備すると全体的な割合で約62%が整備できるので、来年度と遅くても再来年度には残りの約40%を整備して、平成30年度の久保浄水場が新しくなった段階でみらい平の方に送水ができるように進めていく。
委員	有収率89.29%は、良い数字なのか、悪い数字なのか。また、経営指標は増加したとあるが、良いことなのか。悪いことなのか。
事務局	有収率は、送り出した全水量を料金徴収できた水量で割ったものであり、高ければ高いほど効率的で良いことになる。県平均で88.6%なのでそれよりは良くなっている。もともとつくばみらい市では、平成24年度ぐらいに、約84.5%であったが、平成25年度から漏水調査を実施したところ、平成24年度で84.64%だったものが、平成25年度で85.36%、平成26年度で87.53%、平成27年度で89.29%となり、漏水調査の効果がでてきていると思われる。
委員	この数字は今後上がっていくことが期待できるのか。
事務局	今は漏水調査をやっているのは、伊奈地区中心であるが、谷和原地区をやっていけば期待はできる。
委員	経営指標の方はどうか。
事務局	総収支比率は、総費用が総収益によってどの程度まかなわれているのかを示す比率である。経常収支比率も経常費用が経常収益によってどの程度まかなわれているのかを示す比率

	<p>で、この比率が高いほど経常利益率が高いことを表し、100%未満であると損失が生じていることになる。</p> <p>委員 「経営指標は増加した」とあるが、良くなったということによいか。</p> <p>事務局 そのとおりである。</p> <p>委員 有収率については、火災などで水道を出して消火すると、料金に入っていないので有収率は下がるということを補足しておく。</p> <p>事務局 末端の排泥に伴っても有収率は下がるので100%にはならないということである。</p> <p>委員 料金体系について、大規模な災害があつて漏水があつた場合、単年度である程度の料金は高くなるのか。</p> <p>事務局 震災があつてその年度でお金がかかっても、即料金を上げるということはない。ある程度の蓄えの中で対応することになる。その辺を見込んである程度の剰余金は確保しておきたいところである。</p> <p>委員 料金の適時適切な検討とはどのようなことか。</p> <p>事務局 水道料金改定の検討は、水道施設更新基本計画の事業費が判断材料となっており、事業費について計画と実績に差異が生じているため、水道料金改定の検討を行う必要がある。水道施設更新基本計画の事業費計画の見直しについては、すでにとりかかっているが、より正確な事業費を算出するため、今後、谷和原浄水場実施計画策定業務委託を発注し、平成29年9月頃に完了する予定である。</p> <p>料金改定の検討については、次年度予算にて対応予定で、5月頃に検討委託を予定し、10月頃に成果品納品の計画で進める予定であるので、それにあわせて、審議会を数回開催し、ご検討いただく予定である。</p> <p>・閉会 午後2時10分に閉会した。</p>
<p>そ の 他</p>	<p>傍聴人 なし</p>

平成27年度決算事業別概要書

■水道事業会計 [所管：上下水道課]

1 概要

平成27年度末の業務状況は、給水戸数 18,388 戸(対前年度比 628 戸増)、給水人口 47,665 人(同 1,029 人増)で、行政区域内人口 50,506 人に対する普及率は、94.37%であった。

給水量は、年間総配水量 5,048,141 m³(同 55,545 m³増)、一日平均配水量 13,793 m³(同 115 m³増)で、一日最大配水量は 15,172 m³であった。

料金収入の対象となる年間総有収水量は、4,507,499 m³(同 137,338 m³増)、一日平均有収水量 12,316 m³(同 343 m³増)で、有収率(年間総配水量に占める年間総有収水量の割合)は、89.29%であった。

収益的収支のうち、総事業収益は 1,335,108,726 円(税込額 1,420,588,299 円)、総事業費用 1,171,711,942 円(同 1,232,256,273 円)で、収支差引額 163,396,784 円の当年度純利益を計上した。

資本的収支(税込額)は、総収入額 326,102,800 円、総支出額 614,078,267 円で、収入不足額 287,975,467 円は、減債積立金 96,986,726 円、建設改良積立金 162,038,181 円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 28,950,560 円で補てんした。

経営指標は、総収支比率 113.9%(前年度 109.0%)、経常収支比率 113.9%(同 109.7%)、営業収支比率 117.9%(同 112.2%)で、いずれも前年度より増加した。

建設改良事業は、久保浄水場からみらい平配水場への送水管布設工事や避難所等の施設への配水管の耐震化工事を実施した。また、久保浄水場の更新整備に必要な用地を取得した。

なお、今年度も引き続き、道路改良工事等に併せて配水管整備工事を施工し、経費の削減を図った。

2 収益的収入及び支出(税込額)

(収入)

(単位：円，%)

款	項	平成27年度決算額		平成26年度決算額		増△減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	伸び率
水道事業 収 益		1,420,588,299	100.0	1,383,004,916	100.0	37,583,383	2.7
	営業収益	1,145,832,098	80.7	1,101,941,034	79.7	43,891,064	4.0
	営業外収益	274,756,201	19.3	281,063,882	20.3	△6,307,681	△2.2
	特別利益	0	0.0	0	0.0	0	—

(支出)

(単位：円，%)

款	項	平成27年度決算額		平成26年度決算額		増△減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	伸び率
水道事業 費 用		1,232,256,273	100.0	1,255,082,018	100.0	△22,825,745	△1.8
	営業費用	1,202,136,198	97.6	1,221,731,787	97.3	△19,595,589	△1.6
	営業外費用	30,120,075	2.4	25,574,231	2.1	4,545,844	17.8
	特別損失	0	0	7,776,000	0.6	△7,776,000	—

3 資本的収入及び支出（税込額）

（収入）

（単位：円，％）

款	項	平成 27 年度決算額		平成 26 年度決算額		増△減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	伸び率
水道事業		326,102,800	100.0	176,466,600	100.0	149,636,200	84.8
資本的 収入	国庫補助金	50,122,000	15.4	12,668,000	7.2	37,454,000	295.7
	企業債	200,000,000	61.3	100,000,000	56.7	100,000,000	100.0
	加入分担金	61,182,000	18.8	46,926,000	26.6	14,256,000	30.4
	負担金	4,870,800	1.5	3,057,600	1.7	1,813,200	59.3
	出資金	9,928,000	3.0	13,815,000	7.8	△3,887,000	△28.1

（支出）

（単位：円，％）

款	項	平成 27 年度決算額		平成 26 年度決算額		増△減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	伸び率
水道事業		614,078,267	100.0	448,204,000	100.0	165,874,267	37.0
資本的 支出	建設改良費	496,323,580	80.8	320,665,970	71.5	175,657,610	54.8
	企業債償還金	117,754,687	19.2	127,538,030	28.5	△9,783,343	△7.7

《収益的収入》（税抜額）

1. 営業収益

▼給水収益 1,046,724,351 (1,013,128,154)

* () は前年度決算額

区 分		平成 27 年度	平成 26 年度	増減額	増減率 (%)
使用戸数	戸	18,388	17,760	628	3.5
総有収水量	m ³	4,507,499	4,370,161	137,338	3.1
決算額	円	1,046,724,351	1,013,128,154	33,596,197	3.3
供給単価	円	232.2	231.8	0.4	0.2

▼受託工事収益 7,071,600 (6,070,800)

下水道工事に係る上水道管移設補償（市・取手地方広域下水道組合）

▼その他の営業収益 8,344,909 (9,126,037)

主なもの 消防水利負担金 1,350,000

消火栓改修工事負担金 2,819,016

2 営業外収益

▼雑収益 25,854,124 (26,256,306)

主なもの 下水道使用料金賦課徴収負担金 25,200,000

◀収益的支出▶ (税抜額)

1 営業費用

▼原水及び浄水費 434,245,330 (425,913,818)

[水道事業収益：434,245,330]

[事業概要・効果等]

県企業局水海道浄水場からの受水と市内取水井からの地下水浄水により、水道水の安定を確保した。水源比率は受水 61%、地下水 39%となっている。

主なものは、次のとおり

(1) 修繕費	谷和原地区第7号取水井浚渫工事	5,000,000
(2) 動力費	久保浄水場系取水場電気料	7,897,619
	谷和原浄水場系取水場電気料	6,920,898
(3) 受水費	基本料金 215,340,000	
	(契約水量 9,700 m ³ /日 × 1,850 円/m ³ /月 × 12 箇月)	
	使用料金 193,395,620	
	(使用水量 3,170,420 m ³ /年 × 61 円/m ³)	

▼配水及び給水費 174,936,323 (177,349,624)

[水道事業収益：174,936,323]

[事業概要・効果等]

配水・給水施設等を適正に管理して、水道水を安定的に供給した。

浄配水施設を包括的管理委託により、効率的な運転管理、維持管理を行うとともに定期的に水質検査を行った。また、計量法に基づきメーターの交換を行った。

主なものは、次のとおり

(1) 委託料	上水道事業包括的業務	43,188,870
	※業務委託先 (株)ウォーターエージェンシー茨城営業所	
	量水器検満交換管理業務	6,576,840
(2) 修繕費	漏水修理 (流末)	15,047,989
	浄配水場修繕	26,240,000
(3) 動力費	久保浄水場電気料金	15,015,901
	谷和原浄水場電気料金	13,074,649
	みらい平配水場電気料金	2,195,308
(4) 量水器購入費	検定満期 (8年)	7,853,740

▼受託工事費 7,930,000 (5,990,000)

[水道事業収益：7,930,000]

[事業概要・効果等]

下水道工事において支障となる水道管の布設替工事を行った。

(1) 工事請負費 下水道工事に伴う配水管布設替工事 7,930,000

▼総係費 146,583,008 (160,343,631)

[水道事業収益：146,583,008]

[事業概要・効果等]

水道会計職員（事務関係4人，技術関係7人）の person 費や，事業経営に必要な料金徴収業務等の委託を行った。

主なものは，次のとおり

(1) 人件費 給料・職員手当	66,041,119
(2) 委託料 上下水道料金等徴収業務委託 ※業務委託先 シーデーシー情報システム株	31,500,000
(3) 賃借料 上下水道料金システム	3,093,893

2 営業外費用

▼支払利息 企業債利息 22,255,242 (24,398,582)

[水道事業収益：22,255,242]

《資本的支出》(税込額)

1 建設改良費

▼営業設備費 2,159,500 (2,388,320)

[当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額：2,159,500]

[事業概要・効果等]

水道メーターの新規設置及び増径等の交換を行った。

主なものは，次のとおり

(1) 量水器設備費 1,765,300

▼配水設備改良費 217,854,360 (279,376,050)

[企業債：11,900,000 加入分担金：61,182,000 負担金：4,870,800 建設改良積立金：136,278,289 当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額：3,623,271]

[事業概要・効果等]

水道利用者に対して安全安心な水道水を継続的に供給するため，老朽管更新工事，また，道路や下水道工事に伴う配水管布設替工事等を行った。

主なものは，次のとおり

(1) 工事請負費	配水管布設工事(建設工事)	3件	26,211,600
	配水管更新工事(改良工事)	4件	75,535,200
	配水管等布設替工事	4件	47,019,960
	取水井ポンプ設備更新工事	1件	6,264,000
	久保・谷和原浄水場ポンプ及び電動弁設備更新工事	1件	2,084,400

▼拡張事業費 66,906,000 (38,901,600)

[国庫補助金：17,147,000 企業債：35,700,000 建設改良積立金：1,731,172 当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額：12,327,828]

[事業概要・効果等]

久保浄水場からみらい平配水場への送水管布設工事を行った。

(1) 工事請負費	送水管布設工事 (建設工事)	1 件	64,584,000
(2) 委託料	実施設計委託料	1 件	2,322,000

▼緊急時給水拠点確保等事業費 127,537,200 (0)

[国庫補助金：32,975,000 企業債：73,900,000 建設改良積立金：20,662,200]

[事業概要・効果等]

災害時において給水優先度の高い避難所等の施設への配水管の耐震化工事を行った。

(1) 工事請負費	配水管布設工事 (建設工事)	3 件	122,947,200
(2) 委託料	実施設計委託料	1 件	3,780,000

▼久保浄水場更新事業費 81,866,520 (0)

[企業債：78,500,000 建設改良積立金：3,366,520]

[事業概要・効果等]

久保浄水場の更新整備に必要な用地を取得し、高区配水設備の実施設計を行った。

(1) 用地費	用地買収	4,157 m ²	39,491,120
(2) 委託料	実施設計委託料	1 件	35,964,000
	地質調査委託料	1 件	5,886,000

2 企業債償還金 (元金)

▼企業債償還金 (元金) 117,754,687 (127,538,030)

[出資金：9,928,000 減債積立金：96,986,726]

当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額：10,839,961]

(単位：円)

区分	平成 26 年度末 残高	平成 27 年度 借入額	平成 27 年度 償還高	平成 27 年度末 残高
上水道事業債	1,198,552,854	200,000,000	117,754,687	1,280,798,167